

食に関するあらゆる情報を調査「ぐるなびリサーチ部 調査レポート」Vol.18

## 2021年のお花見に関する調査

### コロナ禍で迎える2度目の春、“リベンジ花見”叶わず!? お花見「するつもり」は約1割 「近場」や「短時間」が今年のお花見のキーワードに！

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原章郎）は、ぐるなび会員を対象に、世の中のトレンドに合わせて食に関する様々な調査を実施し、「ぐるなびリサーチ部」として、定期的に情報を発信しています。今回は、2021年のお花見について調査しました。主な結果は以下の通りです。

#### 【調査結果ポイント】

- この春、「お花見をするつもり」はわずか9.2%で「できればしたい」は37.8%。41.8%がお花見を控える傾向。
- お花見をする相手は「家族」「友人・知人」「1人で」が上位に。
- お花見に利用したい食事は「手作り弁当」31.3%に次いで、「飲食店のテイクアウト・デリバリー」が28.9%。
- お花見をしたい場所は「近隣の公園や河川敷」が最も多く、74.5%。
- この春したいお花見のスタイルは「屋外の花見（食事なし）」が最も多く56.8%。

#### コロナ禍で迎える2度目の春。今年のお花見は「独・近・短」に注目！



ぐるなび  
リサーチグループ長  
本間 久美子

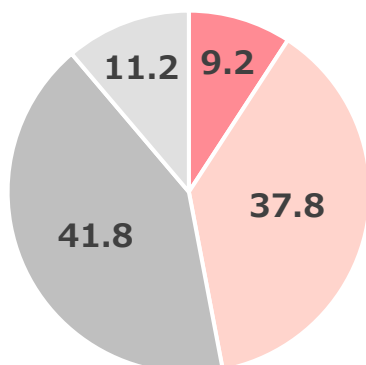
今年の桜の開花は、全国的に例年より早い予想で、お花見シーズンも目前ですが、今年も自粛が要請されています。この春、お花見をする予定はわずか1割となりましたが、約4割は「できればしたい」と、昨年から続く自粛に“リベンジ花見”を果たしたい思いもみえてきました。一方でお花見をする予定の方は、「1人で」が上位に入っていることや、過ごす場所は「近隣の公園や河川敷」が最多、またスタイルとしては短時間で終えることができる「屋外での花見（食事なし）」が最多であることが、今年ならではのお花見の傾向としてあらわれました。またお花見のお供の食事としては、昨今飲食店のメニューが豊富になったこともあってか「飲食店のテイクアウト・デリバリー」が上位に入っています。今年はお花見ならではの本格的なお花見弁当で、ご自宅でお花見気分を味わってみるのはいかがでしょうか？

#### 【調査概要】

- 調査期間：2021年3月5日(金)～7日(日)
- 調査対象：全国

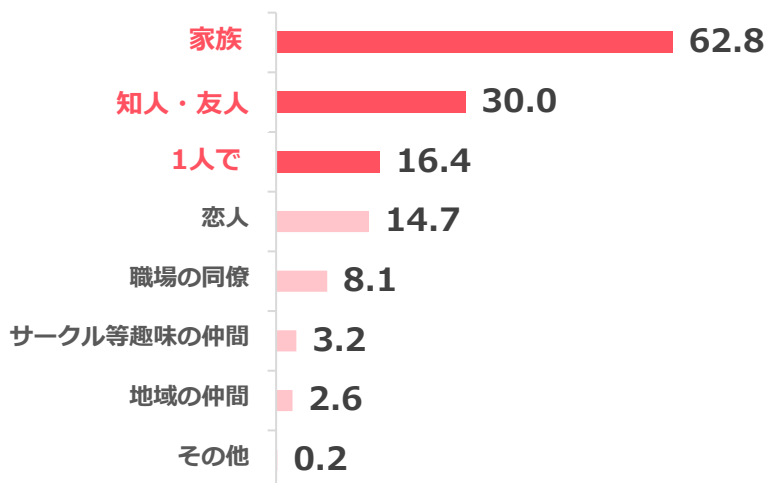
- 調査方法：WEBアンケート
- 回答者：20代～60代のぐるなび会員1,000名

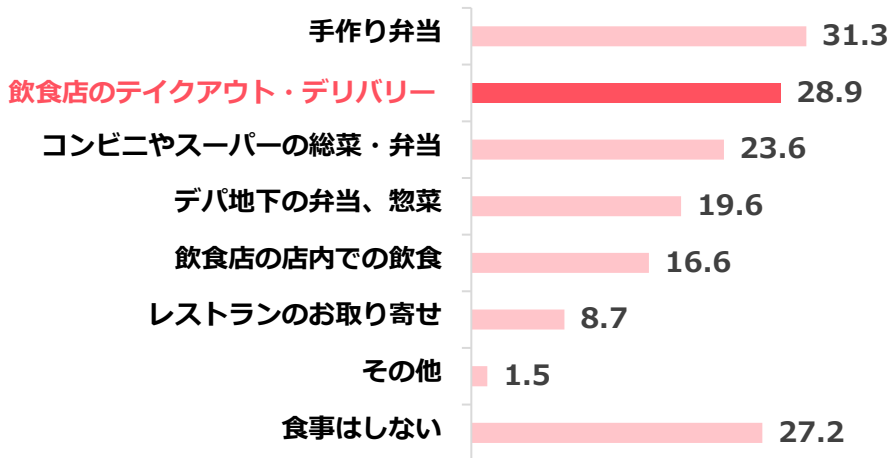
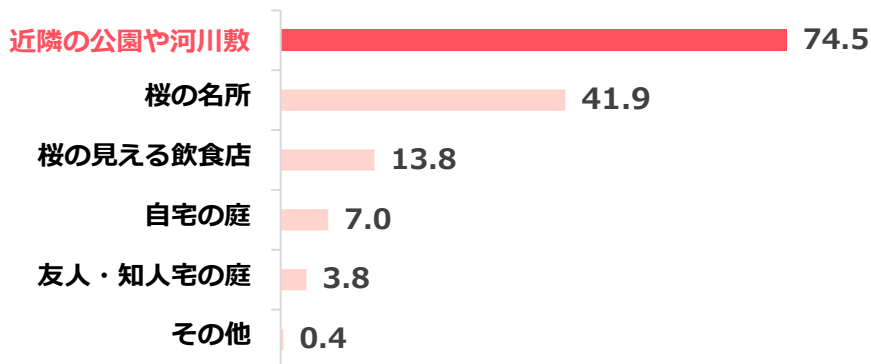
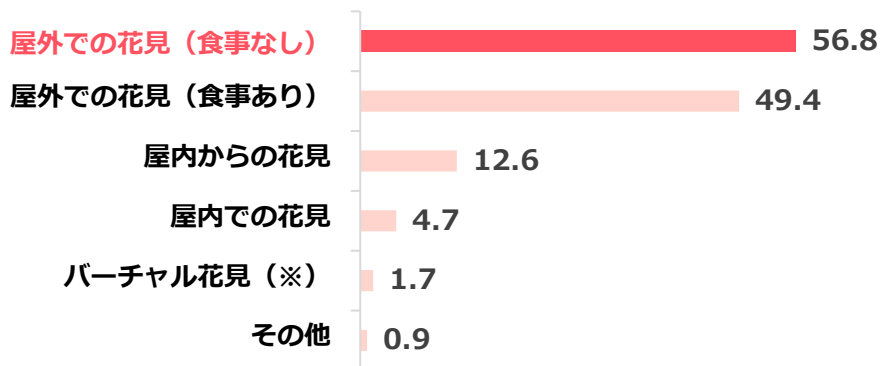
#### Q1. この春、お花見をしますか？ (n=1,000) (%)



■ するつもり  
■ できればしたい  
■ しない  
■ わからない、未定

#### Q2. どなたとお花見をしたいと思いますか？ (n=470) (%) ※複数回答可



**Q3.お花見の時にどのような食事をしたいですか？（n=470）（%）※複数回答可**

**Q4.どこでお花見をしたいですか？（n=470）（%）※複数回答可**

**Q5.どのようなスタイルでお花見をしたいですか？（n=470）（%）※複数回答可**


（※）バーチャル花見…動画や写真などで桜を鑑賞

＜本件に関する報道機関からのお問い合わせ先＞

株式会社ぐるなび 広報グループ MAIL:pr@gnavi.co.jp